

令和4年度草の根・人間の安全保障無償資金協力  
「赤新月社病院超音波検査機器整備計画」贈与契約書署名式典

2022年11月20日、日本政府の草の根人間の安全保障無償資金協力の枠組みにより実施される「赤新月社病院超音波検査機器整備計画」のための51,341米ドルの贈与契約署名式典が、ヨルダン赤新月社協会本部で実施されました。

本計画は、1953年以来、近郊のワハダート・パレスチナ難民キャンプの住民をはじめとする貧困層に安価な医療サービスを提供してきた赤新月社病院に対し、超音波検査機器を供与し、同病院の医療サービスの質の向上及び貧困層患者の健康増進を図るものです。本案件実施により、年間約12,700人が同病院で超音波検査機器による迅速で正確な検査及び診断を受けられるようになり、広範囲の疾患や障害の早期発見に貢献することが期待されています。

同式典では、奥山大使及びモハンマド・アルハディード同協会会長が贈与契約書に署名し、式典出席者からは日本の支援に対し、感謝の言葉が述べられました。署名式後、奥山大使は同病院を視察し、病院内の設備及び過去の日本政府による同病院への支援について説明を受けました。

日本政府は、1993年以降、草の根・人間の安全保障無償資金協力により、ヨルダン国内のNGO、学校、病院及び地方自治体に対して、累計155件、総額1,000万ドル以上の支援を行っています。

